


技術分野分類 5406：金属生産工学

技術キーワード D：鋳造

産業分類 E-22：鉄鋼業

内容	概要	道路上に設置されているマンホール蓋、グレーチングなどの鋳鉄製品の開発時に使う、すべりの評価技術を提案しました。また、その技術を使って、すべり特性の目標値も提案しました。							
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	マンホール蓋などの鋳鉄製品では、歩行者の転倒を防止するために、すべり特性の評価が行われていますが、統一された評価方法がありません。そのため、各製品は、異なる評価方法で評価されています。そこで、従来の評価方法を比較して、よりマンホール蓋の評価に適した2つの評価方法を選定し、これらの評価方法に官能試験を組み合わせた評価方法が有用であることを明らかにしました。なお、評価の際の基準値も定められておらず、各社が独自の基準で評価を行っていますので、その基準となるすべり特性の目標値も示しました。							
	本技術の有用性	提案した評価方法を使うことにより、より安全な鋳鉄製品を開発することが可能です。さらに、提案したすべり特性の目標値が、開発時の目標値として使用できます。							
関連情報 (図・表・写真等)	図 評価技術を使って試作したマンホール蓋 表 提案したすべり特性の目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>利用するすべり試験機</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小野式</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>振り子式</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	利用するすべり試験機	目標値	小野式	0.7	振り子式	42	
利用するすべり試験機	目標値								
小野式	0.7								
振り子式	42								
適用可能製品	鋳鉄製のマンホール蓋、グレーチング								
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	村川 悟 三重県工業研究所金属研究室 主幹研究員							
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	三重県工業研究所 企画調整課 059-234-4037 / 059-234-3982 kougi@pref.mie.jp							

■知的財産 無

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2012年 1月 17日